

(24～26ヶ月用)

K-DST Korean Developmental Screening
Test for Infants & Children

韓国乳幼児発達スクリーニング検査

この発達スクリーニング検査道具は、乳幼児健康診断事業の一環として、保健福祉部と疾病管理本部の後援の下、大韓小児科学会、大韓小児精神健康医学会、大韓小児リハビリテーション発達医学会、心理学などの関連分野の専門家が集まり、韓国の乳幼児の特性に合わせて開発されたものです。

改正版



この検査紙の所有と著作権は、保健福祉部と疾病管理本部にあるため、承認なくして無断で変更・使用・販売することはできません。但し、診療現場や乳幼児の保育施設で所定の教育を修得した乳幼児健診医、小児科専門医、リハビリテーション科専門医、精神科専門医、発達障害関連の専門家(臨床心理学の専門家、発達心理学の専門家など)が乳幼児の発達スクリーニング検査のために使用することは許容されます。

韓国乳幼児発達スクリーニング検査(24～26ヶ月用)

❖ 下記の事項を記載してください。空欄を記入して、該当事項を ☒ チェックしてください。

乳幼児氏名			(男・女)	保護者	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> その他()				
生年月日	年 月 日		日(早産乳児の場合は出産予定日: 年 月 日)						
母親・父親について (選択事項)	母親の	年齢: 満()歳	学歴:	<input type="checkbox"/> 大学院以上	<input type="checkbox"/> 大卒	<input type="checkbox"/> 大学中退	<input type="checkbox"/> 高卒	<input type="checkbox"/> 中卒以下	
	父親の	年齢: 満()歳	学歴:	<input type="checkbox"/> 大学院以上	<input type="checkbox"/> 大卒	<input type="checkbox"/> 大学中退	<input type="checkbox"/> 高卒	<input type="checkbox"/> 中卒以下	
子どもの身体やその他の発達に問題がありますか?			<input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> はい(あるとしたら具体的な病名は?)						

**** この質問紙は、満24～26ヶ月の子どものための質問紙です。子どもが対象月齢でない場合は、月齢にあった質問紙にご記入ください。**

❖ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。

もし、子どもが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------

以下の質問について、「赤ちゃんができるかどうか」を評価してください。






赤ちゃんが当該行動をできるけれども、様々な理由によってあまりしない場合:

例) 赤ちゃんがハサミを十分に使えるほど手の機能が発達しているように見えるが、普段はハサミを与えていない。

ブロック積みをすることはできるが、家にブロックがない、またはブロック遊びをあまり好んでいない。

このような場合には、「できる」とみなしてください。

粗大運動

1	両足をそろえてその場でピョンとジャンプできる。 	③ ② ① ④	5	かかとを上げて足先で4歩以上歩ける。 (爪先立ちで4歩以上歩ける。)	③ ② ① ④
2	階段の一番下の段から両足をそろえて地面に飛び降りれる。	③ ② ① ④	6	階段の手すりをつかまずに、1段ごとに両足を揃えながら階段を上れる。(左右の足を交互に運んで上れる場合も「できる」をチェックしてください。) 	③ ② ① ④
3	立っている状態で頭の上に腕を高く上げてボールを前方に投げる。 	③ ② ① ④	7	何もつかまらずに片足で1秒間立っている。 	③ ② ① ④
4	階段の手すりをつかみ、一步一步交互に踏み出して階段を上る。 	③ ② ① ④	8	バランスをとって安定して走れる。	③ ② ① ④

よくできる ③



まあまあできる ②



あまりできない ①

まったくできない ④



微細運動

1	スプーンを正しくにぎって(食べ物がこぼれないように)口へ持っていく。	③ ② ① ④
2	ブロックを4つ以上積める。 	③ ② ① ④
3	ブロックを2つ以上横にそろえて並べられる。 	③ ② ① ④
4	ドアノブを回してドアを開ける。	③ ② ① ④
5	(色)鉛筆の下部分をつかむ。	③ ② ① ④

6	子供用のハサミを持たせると、実際に紙は切れなくても、片手で紙をつかみもう一方の手でハサミを握ってチョキチョキと紙を切ろうとする。	③ ② ① ④
7	靴紐の穴や玉の穴に紐を通せる。 	③ ② ① ④
8	水平線を描く見本を見せると、真似して同じように描く。(既に描かれている線の上をなぞって描く場合は除く。) 	③ ② ① ④



認知

1	絵本に載っている絵の実物を持ってくる。(例: 鍵の絵を見せると実際に鍵を持ってくる。)	③ ② ① ④
2	動物の絵とその動物の声を理解している。	③ ② ① ④
3	指示した身体の部位を5ヵ所以上指差す。(例: 目、鼻、口、耳、腕)	③ ② ① ④
4	2つの物に対して、大きい物と小さい物を区別する。	③ ② ① ④

5	赤、黄色、青の積み木を混ぜておくと、同じ色の積み木に分ける。	③ ② ① ④
6	丸、四角、三角のような簡単な形の型はめブロックを3つ以上はめられる。	③ ② ① ④
7	『多い-少ない』などの「量」の概念を理解している。(例: 飴2つと飴6つどちらが多いかに対して、多い方を指差す。)	③ ② ① ④
8	2つの線のうち長い線と短い線が区別できる。	③ ② ① ④



言語

1	絵本にでてくる物の名前を知っている。(例: 靴を指差して『これ何?』と尋ねると、『靴』と答える。)	③ ② ① ④
2	正確でなくても、2つの単語で成り立った文章を繰り返して言える。(例: 『お菓子ちょうだい』、『これ何?』と尋ねると、子どもが繰り返して言う。)	③ ② ① ④
3	『私』、『これ』、『あれ』などの代名詞を使用する。	③ ② ① ④
4	意味の異なる2つの単語を組み合わせて話せる。(例: 『ママ牛乳』、『おもちゃちょうだい』、『お菓子食べる。』)	③ ② ① ④

5	語尾を上げて質問形式で話す。	③ ② ① ④
6	自分の物に対して「私のもの」という表現をする。	③ ② ① ④
7	指差ししたり動作でヒントを与えなくても、『テーブルの上にコップ置いてきて』と指示すると、そのとおりに行動する。	③ ② ① ④
8	『中に』、『上に』、『下に』、『後ろに』のうち2つ以上を理解している。	③ ② ① ④

✧ 各質問項目に対して、下記の4つのうち1つだけチェックしてください。

もし、子どもが質問内容通りに行動できるか分からない場合は、行動を誘導してからお答えください。

よくできる ③	まあまあできる ②	あまりできない ①	まったくできない ④
---------	-----------	-----------	------------



社会性

1	母親(保護者)の関心を引くため、周辺の物や遠くにある物を指差す。	③ ② ① ④	5	他の子どもの行動を見て、(簡単な)遊びのルールに従う。	③ ② ① ④
2	楽しくやっていたことをやめさせようとする、『いやだ』ということを言葉や動作で表現する。	③ ② ① ④	6	自分の気分について、良いときは良い、悪いときは悪いということを表現できる。	③ ② ① ④
3	母親(保護者)の関心を引くため、興味深い物や自分がつくったもの、描いたものなどを持ってきて見せる。	③ ② ① ④	7	3～4人と仲良くかくれんぼ、鬼ごっこなどをやる。	③ ② ① ④
4	大人が教えると『ごめんなさい』、『ありがとう』などの言葉を使う。	③ ② ① ④	8	手の届かない場所にある物を他の人に下ろしてほしいと要求する。(例: 水ください。)	③ ② ① ④



自助努力

1	片手でコップを持って飲む。	③ ② ① ④	5	大人が鼻を拭くように言うと、ティッシュで鼻を拭く。	③ ② ① ④
2	上着のボタンを外してあげると一人で脱げる。	③ ② ① ④	6	ボタンや紐を解いてあげるとズボンを一人で脱げる。	③ ② ① ④
3	食べられるものと食べられないもの(例: 紙、土、ティッシュなど)を区別できる。	③ ② ① ④	7	先の尖った家具の角や手すりのない階段などの危険を避ける。	③ ② ① ④
4	一人でスリッパを履く。(左右の区別はできなくてもよい。)	③ ② ① ④	8	食事中にこぼした食べ物は、手や服で拭かずにティッシュやナプキンで拭く。	③ ② ① ④



追加質問

		はい ①	いいえ ④
1	歩けない。	①	④
2	意味のある単語を話せない。(例: 『ワンワン』、『まんま』、『水』など)	①	④
3	幼児が保護者とあまり目を合わせない。(他のことに集中していて目を合わせない場合は除く。)	①	④
4	名前を呼んでもほとんど振り返らない。(聴力に異常がある場合や、他のことに集中しているため呼んでも振り返らない場合は除く。)	①	④
5	大人の関心を引く行動(例: 物を指差して保護者の反応をうかがう、物を持ってきて見せる、一緒に遊ぼうとせがむ、声を出して呼ぶなど)をしない。	①	④
6	まねっこ遊びをしない。(例: 人形にご飯を食べさせる、寝かしつける、ブロックを食べ物にみたてて食べる真似をする、おたまを電話にみたてて電話をする真似をするなど)	①	④

結果表(24～26ヶ月用)

乳幼児氏名		(男・女)	作成日	年	月	日
生年月日	年	月	日 (早産乳児の場合は出産予定日 : 年 月 日)	年	月	日
保護者	<input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 祖母 <input type="checkbox"/> 祖父 <input type="checkbox"/> その他()					

結果の要約

分類 領域	1	2	3	4	5	6	7	8	総点	区切り点		
										ア	イ	ウ
粗大運動										14	18	24
微細運動										13	17	23
認知										10	15	24
言語										6	14	24
社会性										9	15	24
自助努力										12	16	24

追加質問

①= はい ②= いいえ

質問	1 (M)	2 (M)	3 (S)	4 (S)	5 (S)	6 (S)
結果	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②

評価結果

点数化

- 点数化のための採点段階は、下記のと通りの4段階で構成されています。
(よくできる＝3点、まあまあできる＝2点、あまりできない＝1点、まったくできない＝0点)
- 各領域の質問項目の点数を合計して総点を記録します。
- 総点に対する評価は、各領域で示す区切り点に基づき、下記の4つに評価されます。
①詳しい検査を勧める ②追跡検査を勧める ③月齢相応 ④早い方

作成日: _____
 評価者: _____ 署名